

「お元氣確認」10年目

ハ
戸

乳製品などの宅配事業を行う南山デイリーサービス(本社八戸市、南山泰政社長)が2011年9月から始めた、高齢者の見守り・安否確認を行う「お元氣確認サービス」が今年10年目を迎えた。現在は本県、岩手、秋田3県の16市町約300世帯がサービスを利用しており、同社担当者は「新型コロナウイルスの影響で外出を控える高齢者が増え、見守りサービスの役割は大きいと考える。日常生活に少しでも不安を感じている高齢の方に利用してほしい」と呼び掛ける。

(千葉真田美)

同社は本社のほか青森、十和田、三沢、盛岡、秋田各市の事業所で宅配事業を展開し、宅配を利用する世帯を対象に無料で同サービスを行っている。週2回、同社スタッフが在宅の高齢者に商品を手渡し、会話しながら

過去には屋根から転落し倒れていた利用者をスタッフが発見した事例や、利用者の異変に気づき消防に通報したところ、初期の脳梗塞だと分かった事例などがあったという。

同社では利用者に安心と信頼を提供するため、行政と協定を結び、地域包括支援センターと連携してサービスを提供している。10月には津軽地域で初めて青森市と協定を締結した。

サービスを利用する八戸市の1人暮らしの女性(92)はスタッフの来訪をいつも楽しみにしているといい「息子と娘が県外に住んでおり、コロナの影響で帰って来られない。(スタッフが)週2回来てくれるので安心」と笑顔で話した。

同社では新型コロナウイルス感染防止のため宅配時に商品をかごに入れて手渡しするなど、対策を取りながらサービスをを行っている。

南山社長は「北東北3県は高齢化率が高く、1人暮らし高齢者が増えている。今後も家族や地域の絆をつなぐ事業に取り組んでいきたい」と語った。

乳製品など宅配 南山デイリーサービス



宅配スタッフ④から乳製品を受け取る「お元氣確認サービス」利用者

コロナ下 高齢者から信頼高まる